

研究課題名	局所皮弁部分壊死発生時の対策と予後予測因子についての検討
実施責任者	所属・職名：整形外科 医長 氏名：藤原 祐樹
研究の概要	外傷によって皮膚が傷んでなくなってしまった場合、周囲の皮膚をずらしてその皮膚がなくなった部分を覆う局所皮弁術を行うことがあります。この手術では術後その皮弁の血行が悪くなり、場合によっては移動させた皮膚が壊死するようなこともあり得ます。今回の研究では、手術が終わった数日後創を確認した際にその色調が不良であった場合に、それが結果的にどのような転帰をたどったのかを調査します。
実施の期間	西暦 2007年 10月 1日より 西暦 2020年 3月 30日まで
研究対象	当院で皮膚欠損創に対して手術治療を行った患者さんが対象となります。治療方法や術前術後のレントゲン画像、手術時に撮影した写真などがその研究対象となりますが、患者さんに対し研究のためだけに追加で余分な検査を行ったりすることはありません。